

ユニバーサルデザインタクシー普及促進アクションプラン【概要】

◆現状・背景等

- 大阪における普及率は低い状況
導入状況
【33位】大阪府 360台／15,287台 普及率 2.4%
【1位】東京都 11,230台／30,695台 普及率36.6%
【3位】愛知県 1,075台／ 7,954台 普及率13.5%
(令和2年3月末 全国ハイヤー・タクシー連合会調べ 個人タクシー除く)
- 令和2年12月改正の国のバリアフリー基本方針では、令和7年度までに、各都道府県の総車両数の約25%をUDタクシーとする目標が明記
- 大阪・関西万博では、国連が提唱している持続可能な開発目標（SDGs）が達成された社会を目指しており、「いのち輝く未来社会」の実現に向け、ユニバーサルデザインの取組を推進
- これまで、国の補助制度を活用し普及促進を図ってきたが、万博開催を見据え、UDタクシー普及率の底上げが必要

◆検討体制

- UDタクシー普及促進ワーキンググループ設置
全庁的な取組を促進するため、ユニバーサルデザイン推進指針
庁内連絡会議に、UDタクシー普及促進WGを設置し、それぞれの
役割のもと具体的な施策の取組を進める

ユニバーサルデザイン推進指針庁内連絡会議

UDタクシー普及促進WG

メンバー：政策企画部、万博推進局、府民文化部、福祉部、
商工労働部、環境農林水産部、
都市整備部（事務局）

◆取組の方向性

- 目標年次：万博開催期間中のできるだけ早い時期（R7.2改訂）
- 導入目標：府内のタクシー総車両数の約25%
- 取組内容

1. 各種計画への位置づけ〔新規・継続〕

- ・「大阪・関西万博推進アクションプラン」〔新規〕
- ・国の「2025年大阪・関西万博アクションプラン」に位置づけられるよう働きかけ〔新規〕
- ・大阪府ユニバーサルデザイン推進指針〔継続〕

2. 更なる国費充当などを国へ要望〔拡充〕

- ・国のUDタクシー補助制度（バリアフリー化設備等整備事業や交通サービスインバウンド対応支援事業）の補助率や上限額の引き上げ及び、十分な予算措置などを要望

3. 補助制度の創設〔新規〕【令和4年度予算額：180百万円／年】

- ・補助上限額：30万円／台
- ・補助台数：約600台／年
- ・対象車両：UDタクシー、車椅子等対応車
- ・事業期間：令和4年度～令和6年度（3年間）

4. その他普及促進策の推進〔新規・拡充・継続〕

- ・UDタクシー普及促進のための案内窓口の設置〔新規〕
- ・制度融資（SDGsビジネス支援資金）
（信用保証協会が保証人となり、銀行より融資（限度額2億円、
利率1.4%））〔継続〕
- ・万博機運醸成に向けた取組〔新規〕
- ・普及促進に向けた関係団体との意見交換〔新規〕等